

令和 7 年度通常総会

議 案

令和 7 年 4 月 1 9 日（土）

石 川 県 巨 樹 の 会

Ishikawa Giant Tree Association

議案第 1 号

令和 6 年度事業報告及び収支決算について

1. 事業報告

(1) 総括

まず、昨年発生いたしました能登半島地震、能登豪雨で被災され未だに仮設住宅に一時避難を余儀なくされておられる方も少なくなく一刻も早い復興復旧が進むことをご祈念申し上げます。

総会・講演会は、一昨年に引き続き文教会館にて開催し、22名の参加者でのスタートとなりました。

春季・秋季年間2度の探訪会開催をはじめ、「環境フェア2024」への参加、「第35回巨木を語ろう全国フォーラム福井・大野大会」には会長はじめ10名の会員が参加となりました。

また、本会ホームページ等のSNSには反応、手応えがあるようです。

会員の状況については、会員の高齢化による退会がありましたが、新規入会者も予想以上にあり会員数は微増となりました。

しかしながら、若い会員の入会施策が急務だと感じておりますので、会員の皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

ア 例年の事業である巨樹探訪会の春季は35周年記念として兵庫・大阪・京都へ1泊2日の工程で実施しました。最近では樹木保護の観点から樹の周囲は柵で仕切られ触ることは出来ないものが多い中、三島神社の薫蓋樟は直接触ることが出来、参加者は樹の周囲に手繋ぎで幹回りを測っていたのが印象に残りました。

秋季は能登半島地震と能登豪雨で復興、復旧の途上にある輪島市門前町を訪ねました。隆起して海底が露わになった黒島漁港の防波堤をバックに立ち自然の驚異を目の当たりにしました。その後黒島公民館にて地元仕出し弁当で食事後、専門家の講演と地元の方々の体験談を聞き改めて2000年に一度の歴史の1ページを記憶に留めました。

春季は28名、秋季は24名の参加者は皆様満足され好評でした。

イ 会報は、会員だけでなく行政や報道機関、図書館等の友好団体にも広く配布し、巨樹の保護や本会活動についての理解や普及に努めました。

ウ 「いしかわ環境フェア2024」は、例年通り県産業展示館4号館にて開催され、本会活動をPRできました。

エ 調査普及活動においては、本会ホームページの充実を図り、若い世代へのアピールを強化すると共に、北國総研の手取川環境総合調査と連携し、巨樹調査を実施するなど活動の充実を図りました。

一方、ホームページを通じて本会への樹木調査依頼が3件あり、その対応の結果として本会への入会へ繋がる事例もありました。

「第35回巨木を語ろう全国フォーラム福井・大野大会」は、隣県での開催であったことから、本会より10名が参加し、懇親会、エクスカージョン等を通して広く全国の巨樹愛好家・樹木や森林の専門家の方々と情報交換、情報共有を図り、歴史ある本会の活動をアピールできました。

フォーラムに先立って行われた全国巨樹・巨木林の会総会では間明副会長が本会活動の一端を紹介し、さすが石川県巨樹の会と評価頂きました。

能登地区の復興復旧支援については、秋季探訪会で現地を訪れたほか、

石川県緑化推進委員会とともに仮設住宅を訪問し、間伐材のプランターやガーデンボックスを作る活動に2名が参加しました。

巨樹データベースについては、昨年5月10日に本会ホームページにアップロードできました。

(2) 会員の状況

総括でも申し述べました通り、35年間に渡って長く活動を支えて頂いている会員も高齢となり、退会者も増えましたが新規入会者もあり、久しぶりに前年の会員数を上回り、ホッとしているのが率直な感想です。

しかしながら、会員の高齢化は進んでおり、若年層の入会を図るべく、役員の若者登用、ホームページの強化、巨樹データ管理、魅力ある探訪会、講演会の内容について、再検討が必要ではないかと感じております。

令和7年3月末現在

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減
個人会員	131	128	132	+4
法人会員	13	13	13	±0
購読会員	5	5	5	±0
計	149	146	150	+4

(3) 事業の経過

令和6年4月～令和7年3月

① 会議等

会議等名	実施日	備考
総会	4月20日	県文教会館
監査	3月28日	神社庁にて
打ち合わせ等	4月15日、17日、18日、19日	総会打ち合わせ他
	4月7日、11日、13日、27日、30日	
	5月1日、3日、9日、10日、22日、23日 24日、25日～26日	
	6月5日、7日、26日、27日、28日	
	7月1日、19日、26日	
	8月4日、7日、10日、11日、17日、20日 23日、24日、25日、29日	
	9月9日、10日、14日、24日、28日～29日	
	10月14日、21日、22日、27日、28日、29日	
	11月2日、6日、11日、14日、21日、23日	
	12月1日、3日、21日、26日	
	1月20日、29日、30日	
	2月6日、21日、28日	
	3月11日、25日、27日	
合同役員会	2月15日	

②講演会

日 程 4月20日
会 場 石川県文教会館202会議室
講 師 濱野 一郎 本会相談役理事
演 題 「マダガスカルへの旅」～バオバブウォッチング～
出 席 22名

③巨樹探訪会

春 季 (5月25、26日) 兵庫、大阪、京都 (参加28名)
秋 季 (11月23日) 輪島市門前方面 (参加24名)

④会報 「巨樹いしかわ」の発行

8月(第71号) 2月(第72号) 各500部

⑤調査・研究・普及活動等

ア「いしかわ環境フェア」に参加・出展(8月24日、25日)

本会作成の「石川の巨樹・巨木林ガイド」を中心に写真展示や巨樹の環境への効果、本会会員の活動(太田の大栃の30年の状況推移)を紹介しました。

併せて当会入会案内を配布してPRしました。

イ その他関係団体等が開催する活動や行事等への参加・指導・協賛。

5月22日 石川県自然史センター総会・講演会
参加 高木会長 他3名

8月10日 能登支援ボランティア
出席 北川副会長 他1名

9月28、29日 巨木を語ろう全国フォーラム福井・大野大会
参加 高木会長 他9名

12月26日 北國総合研究所 手取川環境総合調査報告書
提出 北川、間明、八木

令和7年

3月14日 金沢林業大学校「金沢市街地の巨樹をめぐる」
講師 間明副会長

3月26日 テレビ金沢「つたえよう美しき森」イベント
「まちなかの巨樹めぐり」
～巨樹をみる、まなぶ～
講師 上田専務 他2名

2. 収支決算

別紙1

(1) 総括

令和6年度の収支決算は、別紙1の通りとなりました。

令和6年度は、能登半島地震で被災された河北郡以北の会員(対象約30名)に対し、会費免除の対応をさせて頂きましたが、本年度は従来通りとさせていただきますので、引き続き皆様のご協力をお願い致します。

議案第 2 号

令和 7 年度事業計画及び収支予算（案）について

1. 事業計画

(1) 基本方針

- ① 巨樹に親しみ護ることの意義や重要性の認識の普及・浸透に努める。
- ② 巨樹調査データの公開を踏まえ再調査の未実施分の計画を継続し、様々な活動の中に再調査を組み込み一般の方々への情報共有を図る。
- ③ 巨樹の健全度などの現状把握に努め診断や保護対策を提言する。
- ④ 自治体（地域）と連携し、保護対策の充実、発信。
特に重要な樹木の天然記念物指定等に努める。
- ⑤ 本会の趣旨、目的、活動の重要性を広め、会員の増加に努める。
- ⑥ 能登地区の復興復旧を長期的に応援する活動を組み込む。

(2) 事業計画

① 講演会

日時 令和 7 年 4 月 1 9 日（土） 14 時 30 分～16 時 00 分
場所 石川県文教会館 2 0 2 会議室
演題 「身近な草から布を織る」
講師 村田 瑞江 氏
(金沢湯涌創作の森版画工房スタッフ)

② 巨樹探訪会の実施

ア 春季 5 月 3 1 日（土） 探訪先 福井県越前市、池田町方面
越前市 大瀧神社（日本一複雑な屋根 重要文化財）
池田町 稲荷の大杉、白山神社の櫓、かづら橋
イ 秋季 1 1 月 を予定
探訪地 未定

③ 会報「巨樹いしかわ」の発行

ア 発行回数 2 回 （8 月、2 月）発行部数 5 0 0 部
イ 会員からの積極的な寄稿を求めます。

④ 調査・研究・普及・保護活動等

ア 巨樹再調査の実施（年 2 回探訪会での計測等の実施）。
イ 巨樹データベース（環境省）の更新及び登録。
ウ 自治体と連携し巨樹の重要性について社会的理解と認識を高める。天然記念物指定等を積極的に推進。
エ 巨樹古木の保護等に関する相談や診断、管理指導の継続実施。
オ 「巨樹保護活動等」の継続実施。
カ 関係団体の行事等への積極的参加と活動のコラボレーションで巨樹の意義や重要性、巨樹愛護を対外的に発信する。
第 3 6 回巨木を語ろう全国フォーラム 福島・広野大会への参加協力（5 月 1 7 日、1 8 日）。
キ 巨樹の会の存在を P R、特にホームページ等 S N S ツールを利用し幅広い年代層にアピールする。
ク 能登地区、加賀地区、金沢地区それぞれの地区委員との情報交換会の開催。
ケ 関係団体が行う能登地区復興事業に積極的に参加。

⑤ 会員の増加、支援者の拡大

会の活動のPR、自治体への要望、探訪会への一般参加の推進、幅広い内容による活動等で会員増を図る。

2. 収支予算

別紙 2

収入増のためには会員確保が最重要であり、活動内容の見直しや魅力ある活動の発信、自治体や各種団体との連携した取り組み等を行います。

議案第 3 号

役員の選任について

別紙 3

報告事項

1) 令和 7 年度運営委員及び地区委員の委嘱について

別紙 4

その他